

令和 3 年度
(2021 年度)

決算等審査意見書

稲城・府中墓苑組合監査委員

写

4 稲府墓監発第 6 号
令和 4 年 9 月 28 日

稲城・府中墓苑組合管理者
高橋 勝 浩 殿

稲城・府中墓苑組合監査委員
岩 藤 真 実
稲城・府中墓苑組合監査委員
福 田 千 夏

令和 3 年度稲城・府中墓苑組合一般会計・墓地特別会計歳入歳出決算
及び各基金の運用状況を示す書類の審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定に基づき審査に付された令和 3 年度稲城・府中墓苑組合一般会計・墓地特別会計歳入歳出決算及び同法第 241 条第 5 項の規定に基づき審査に付された令和 3 年度稲城・府中墓苑組合各基金の運用状況を示す書類について審査した結果、別紙のとおり意見を付します。

* 小数点以下の表示は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。

* 該当の数字がないものは「—」と表示した。

令和3年度稲城・府中墓苑組合一般会計及び墓地特別会計
歳入歳出決算の審査意見書

1 審査等の種類

地方自治法第233条第2項の規定及び稲城・府中墓苑組合監査基準に基づく決算審査

2 審査の対象

令和3年度稲城・府中墓苑組合一般会計歳入歳出決算書、墓地特別会計歳入歳出決算書及び関係書類

3 審査の手續及び着眼点並びに実施内容

審査に当たっては、提出された決算書が法令に従い調製及び作成されているか、計算に間違いはないか、支出命令等に符号しているか、収支は適法であるか等に主眼を置き、書類審査及び職員の説明の聴取により実施した。

4 審査の実施場所及び日程

実施場所：公営 稲城・府中メモリアルパーク 南山ホール2階洋室

日 程：令和4年7月28日

5 審査の結果

審査に付された決算及び証書類は、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されており、かつ証拠書類と照合したところ、計数に誤りはないものと認められた。

1 決算の規模と収支状況

令和3年度稲城・府中墓苑組一般会計及び墓地特別会計の歳入歳出決算は次のとおりである。

(1)一般会計歳入歳出決算

(単位：円)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額
78,912,425	67,191,151	11,721,274	0	11,721,274

この決算額の対前年度との比較は次のとおりである。

(単位：円、%)

区分	年度	令和3年度	令和2年度	対前年度	
				増減額	増減率
歳入総額	A	78,912,425	79,181,611	△269,186	△0.3
歳出総額	B	67,191,151	73,086,264	△5,895,113	△8.1
歳入歳出差引額 (A-B)	C	11,721,274	6,095,347	5,625,927	92.3
翌年度へ繰り 越すべき財源	D	0	0	0	0
実質収支額 (C-D)	E	11,721,274	6,095,347	5,625,927	92.3
前年度実質収支額	F	6,095,347	13,064,963	△6,969,616	△53.3
単年度収支額 (E-F)	G	5,625,927	△6,969,616	12,595,543	180.7

本年度の一般会計の歳入総額は7,891万2,425円で、前年度と比較すると26万9,186円(0.3%)の減となっている。歳出総額は6,719万1,151円で、前年度と比較すると589万5,113円(8.1%)の減となっている。

本年度の歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は1,172万1,274円で、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額は1,172万1,274円となっている。

(2)墓地特別会計歳入歳出決算

(単位：円)

歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額 (形式収支)	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額
985,899,068	976,391,394	9,507,674	0	9,507,674

この決算額の対前年度との比較は次のとおりである。

(単位：円、%)

区分	年度	令和3年度	令和2年度	対前年度	
				増減額	増減率
歳入総額	A	985,899,068	925,761,285	60,137,783	6.5
歳出総額	B	976,391,394	913,358,589	63,032,805	6.9
歳入歳出差引額 (A-B)	C	9,507,674	12,402,696	△2,895,022	△23.3
翌年度へ繰り 越すべき財源	D	0	0	0	0
実質収支額 (C-D)	E	9,507,674	12,402,696	△2,895,022	△23.3
前年度実質収支額	F	12,402,696	8,067,522	4,335,174	53.7
単年度収支額 (E-F)	G	△2,895,022	4,335,174	△7,230,196	△166.8

本年度の墓地特別会計の歳入総額は9億8,589万9,068円で、前年度と比較すると6,013万7,783円(6.5%)の増となっている。歳出総額は9億7,639万1,394円で、前年度と比較すると6,303万2,805円(6.9%)の増となっている。

本年度の歳入総額から歳出総額を差し引いた歳入歳出差引額は950万7,674円で、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支額は950万7,674円となっている。

2 歳入の状況

(1) 一般会計歳入決算

本年度の予算現額は7,901万8,000円で、調定額は7,891万2,425円、収入済額は7,891万2,425円、予算現額に対する収入率は99.9%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	不納 欠損額	収入 未済額
令和3年度	79,018,000	78,912,425	78,912,425	99.9	0	0
令和2年度	83,677,000	79,181,611	79,181,611	94.6	0	0
増減額	△4,659,000	△269,186	△269,186	—	0	0
増減率	△5.6	△0.3	△0.3	5.3	0.0	0.0

(2) 墓地特別会計歳入決算

本年度の予算現額は9億9,935万9,000円で、調定額は9億8,589万9,068円、収入済額は9億8,589万9,068円、予算現額に対する収入率は98.7%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	収入率	不納 欠損額	収入 未済額
令和3年度	999,359,000	985,899,068	985,899,068	98.7	0	0
令和2年度	1,223,921,000	925,761,285	925,761,285	75.6	0	0
増減額	△224,562,000	60,137,783	60,137,783	—	0	0
増減率	△18.3	6.5	6.5	23.1	0.0	0.0

3 歳出の状況

(1) 一般会計歳出決算

本年度の予算現額は7,901万8,000円で、支出済額は6,719万1,151円、翌年度繰越額はなく、不用額は1,182万6,849円、執行率は85.0%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	支出済額	執行率	翌年度 繰越額	不用額
令和3年度	79,018,000	67,191,151	85.0	0	11,826,849
令和2年度	83,677,000	73,086,264	87.3	0	10,590,736
増減額	△4,659,000	△5,895,113	—	0	1,236,113
増減率	△5.6	△8.1	△2.3	0.0	11.7

(2) 墓地特別会計歳出決算

本年度の予算現額は9億9,935万9,000円で、支出済額は9億7,639万1,394円、翌年度繰越額はなく、不用額は2,296万7,606円、執行率は97.7%である。

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	支出済額	執行率	翌年度 繰越額	不用額
令和3年度	999,359,000	976,391,394	97.7	0	22,967,606
令和2年度	1,223,921,000	913,358,589	74.6	0	310,562,411
増減額	△224,562,000	63,032,805	—	0	△287,594,805
増減率	△18.3	6.9	23.1	0.0	△92.6

(3)歳出の性質別比較（普通会計）

歳出の性質別比較は、普通会計によるものとし、次表のとおりである。なお、普通会計とは地方公共団体の会計のうち公営事業会計を除く会計を統合したものであり、地方財政統計上統一的に用いられる会計区分である。

(単位：千円、%)

区分	令和3年度		令和2年度		対前年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
人件費	58,081	5.7	57,616	6.0	465	0.8
物件費	44,680	4.4	42,723	4.5	1,957	4.6
維持補修費	1,243	0.1	227	0.0	1,016	447.6
扶助費	0	0.0	80	0.0	△80	△100.0
補助費等	5,057	0.5	12,911	1.3	△7,854	△60.8
公債費	527,023	51.8	527,023	54.9	0	0
積立金	380,876	37.5	319,968	33.3	60,908	19.0
合計	1,016,960	100.0	960,548	100.0	56,412	5.9

(4)歳出の目的別比較（普通会計）

歳出の目的別比較は、普通会計によるものとし、次表のとおりである。なお、区分については、地方財政統計上用いられているもので、決算書における予算科目とは計上が異なる。

(単位：千円、%)

区分	令和3年度		令和2年度		対前年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
議会費	1,461	0.1	1,437	0.2	24	1.7
総務費	450	0.1	492	0.1	△42	△8.5
民生費	0	0.0	80	0.0	△80	△100.0
衛生費	488,026	48.0	431,516	44.9	56,510	13.1
公債費	527,023	51.8	527,023	54.8	0	0.0
合計	1,016,960	100.0	960,548	100.0	56,412	5.9

4 物品

物品の現在高（取得価額50万円以上）

区分	前年度末 現在高	令和3年度中 増減高	令和3年度末 現在高
乗用自動車	2	0	2
音響機器	2	0	2
遺体保冷库	3	0	3
祭壇	2	0	2

5 基金

基金の現在高

(単位：円)

区 分	前年度末 現在高	令和3年度中増減高		令和3度末 現在高
		増	減	
財政調整基金	40,538,676	13,504	0	40,552,180
墓地管理運営基金	534,689,891	380,863,802	571,254,000	344,299,693
合 計	575,228,567	380,877,306	571,254,000	384,851,873

6 まとめ

令和3年度稲城・府中墓苑組合の一般会計及び墓地特別会計における歳入歳出決算の執行状況、及び事務事業の実施状況を審査したところ、事務は適正に処理されていると認められた。

令和3年度決算では、一般会計においては、歳入の予算比収入率が99.9%、歳出の執行率が85.0%であり、墓地特別会計においては、歳入の予算比収入率が98.7%、歳出の執行率が97.7%であった。

歳入面では、前年度比で南山ホール使用料収入が約12%の増、墓地使用料収入が約18%の増となった。

南山ホール使用料収入増の要因は、前年度にコロナ禍により大きく落ち込んだ需要が多少回復したことによるものだが、依然としてコロナ禍以前の水準までは達していない。コロナ禍における新たな生活様式の定着により、葬儀・法要の簡素化が進んでおり、今後もホールの需要が大きく回復することは難しいと思われるが、利用者の方に安全にご利用いただくため、ホールの消毒や換気等の感染予防策に努められたい。

墓地使用料収入増の要因は、内覧会の複数回開催、募集チラシの戸別配布、市役所での臨時受付窓口開設など、応募数の増加に向けた取組みの成果によるものと評価する。今後も引き続き応募数の増加に向けて、募集要件の見直し、有期限芝生墓地制度の創設、年度内複数回の募集などの新たな取組みを行うとのことであり、その効果が期待される場所である。

歳出面では、コロナ禍による行政視察の中止に伴う旅費の執行残及び長期継続契約の入札に係る契約差金を除き、概ね予算どおりに執行されている。

最後に全体として、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として大きく、令和3年度の予算執行にあたっては予算編成時の想定と大きく異なってくることもあったかと思う。また、今後は世界的な燃料費の高騰が光熱費に影響を及ぼしてくることも見込まれるが、必要な予算は確保できるよう臨機応変な対応を行い、より適正な予算執行及び組合運営が行われることを期待する。